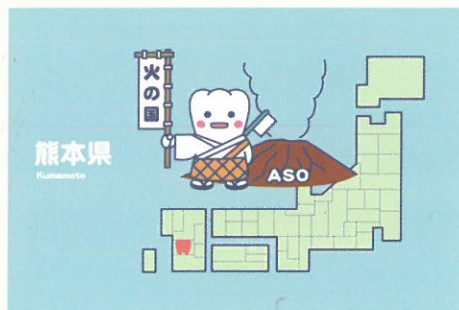




めざせ！健口から健康へ！

続けよう！フッ化物洗口！



©2010 熊本県 くまモン

熊本県

熊本県教育委員会

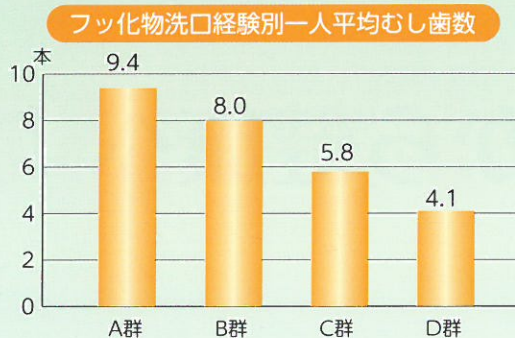
熊本県歯科医師会

フッ化物洗口のむし歯予防効果

～続けるとこんな効果があります～

保育所・幼稚園から中学校卒業時まで続けることがポイントです！

4歳頃から中学校卒業まで、11年間継続してフッ化物洗口を経験してきた者（D群）は、フッ化物洗口を経験していない者（A群）と比べると、永久歯の一人平均むし歯本数は半分以下でした。



A群：フッ化物洗口経験なし
B群：保育所・幼稚園または中学校を中心に1～5年の経験
C群：小学校を中心に6～9年の経験
D群：4歳児より保育所・幼稚園及び小中学校の11年間

小林他 口腔衛生学会雑誌 43,192-199 (1993) より作成
(新潟県西蒲原郡における高校2年生を対象とした調査)

大人になってからも効果が続いています！

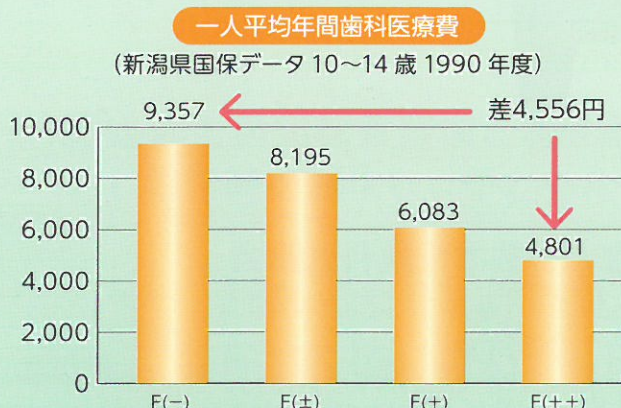
保育園、小・中学校でフッ化物洗口を経験した者は、30歳（平均年齢31.6歳）になったときに、フッ化物洗口未実施の者に比べて、むし歯本数は約1/3で、喪失歯は1本もありませんでした。



葭原ら、口腔衛生学会雑誌 54 (4), (2004)
(新潟県弥彦村の乳幼児健診を受診した母親を対象とした調査)

長期実施市町村で低い歯科医療費

フッ化物洗口を長期間実施した市町村では、子ども一人あたりの歯科医療費が低い傾向にあり、未実施市町村の約半分でした。



F(-)：未実施
F(±)：実施3年未満 (21市町村)
F(+): 実施6年未満 (21市町村)
F(++)：実施6年以上 (29市町村)

フッ化物洗口実施と未実施の市町村の10～14歳の歯科医療費の差年間約4,600円

約23倍

フッ化物洗口に要する1人あたりの経費年間約100～300円

安藤他 口腔衛生学会雑誌 44,315-328 (1994)
(新潟県内の市町村を対象とした調査)

フッ化物洗口を 実施されている 関係者の皆さんへ

フッ化物洗口を継続していくためには関係機関の理解と協力、それぞれの役割のもとで連携して行うことが大切です。

また、フッ化物洗口実施後も定期的に、関係者で実施体制を確認し、必要に応じ改善を行い継続していきましょう。



★祝祭日等でフッ化物洗口ができない週は必ず**代替日**を設けましょう！

★**週1回**の実施日をしっかり確保しましょう！

★フッ化物洗口は**継続**して行いましょう！

子どもたちの健康な未来のために頑張りましょう！

なぜ継続して行う必要があるのか??

どんな病気でも「予防に勝る治療なし」と言われていますが、特にむし歯は予防の重要性が非常に高い病気の一つです。

その理由は、むし歯ができて穴が開いてしまうと決してもとには戻らないからです。

(自然に治癒しない)むし歯は、歯が生えて間もない時期(萌出後2～3年)になりやすい事が分かっています。

永久歯は、5歳前後から6歳に生え始め、おおよそ小・中学校の頃に生え変わるため、その時期にしっかり予防しておくことが大切です。フッ化物洗口は低濃度で、長期間継続して行われることが重要なポイントになります。

フッ化物洗口実施マニュアルより (抜粋)

Q17 祝日、行事により実施できなかった場合は、どうしたら良いですか？

A17 夏休み等の長期休暇中は、学校等の施設でフッ化物洗口を実施できないのはやむを得ないでしょう。

ただし、週1回法の場合は、春、夏、冬休みを除くと年間実施回数が40回程度であり、実施回数が減ると予防効果に影響がでることから、祝日や行事により実施できなかった場合は、代替日を設ける等して実施するよう努めましょう。

フッ化物洗口を実施している地域のむし歯の状況

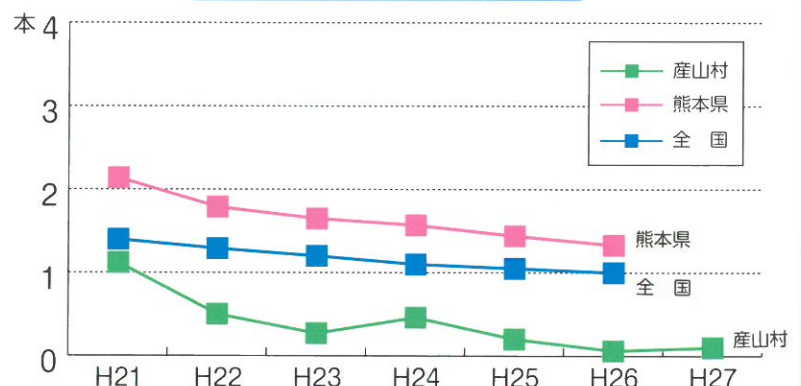
フッ化物洗口を早期(平成24年度)に全小中学校で実施した産山村、高森町では、12歳児のむし歯が減少しています。

	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
産山村	1.12	0.50	0.27	0.46	0.20	0.06	0.10
高森町	3.83	1.54	1.70	2.47	1.83	1.08	0.68
熊本県	2.14	1.79	1.65	1.57	1.44	1.33	
全国	1.40	1.29	1.20	1.10	1.05	1.00	

産山村のフッ化物洗口実施状況

平成24年5月 小学校(1校)・中学校(1校)で開始

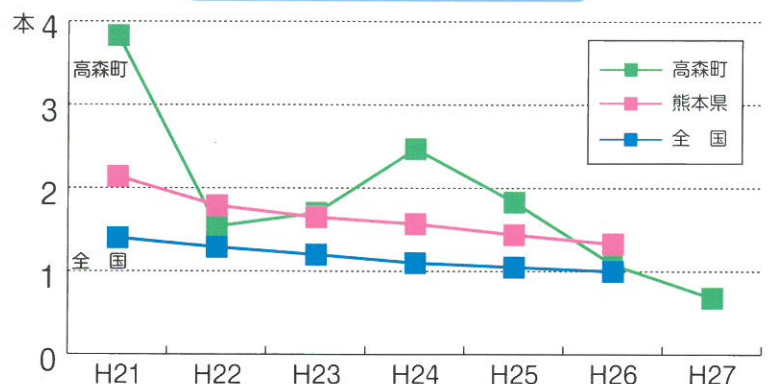
12歳児一人平均むし歯本数



高森町のフッ化物洗口実施状況

平成24年7月 小学校(2校)・中学校(2校)で開始

12歳児一人平均むし歯本数



(熊本県健康づくり推進課)

※平成21年度文部科学省学校保健統計調査において、熊本県の12歳児の一人平均むし歯数が全国でワースト2位となった平成21年度からの経年変化をグラフに示しています。

熊本県でも、フッ化物洗口を 実施している施設は増加しています！

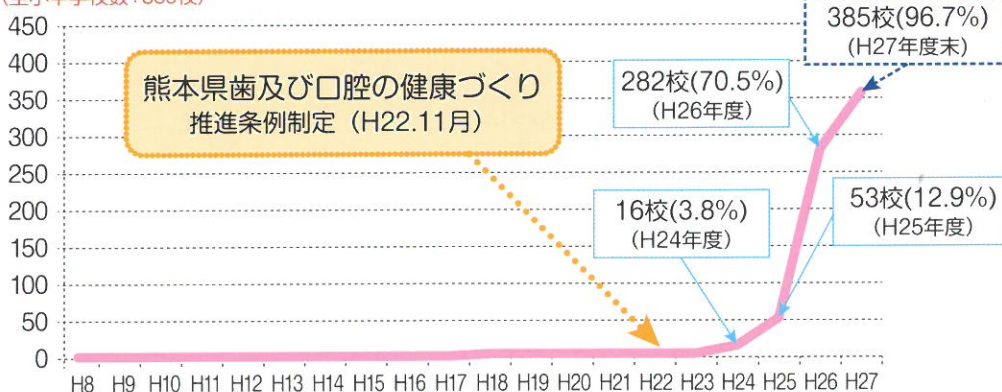
熊本県におけるフッ化物洗口実施小中学校数推移（熊本市を除く）

熊本県健康づくり推進課

年度	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
実施校数	5	5	5	5	5	5	16	53	282	385
実施率	1.0%	1.0%	1.0%	1.0%	1.1%	1.1%	3.8%	12.9%	70.5%	96.7%

H29年度実施率が100%になりました

（全小中学校数：389校）

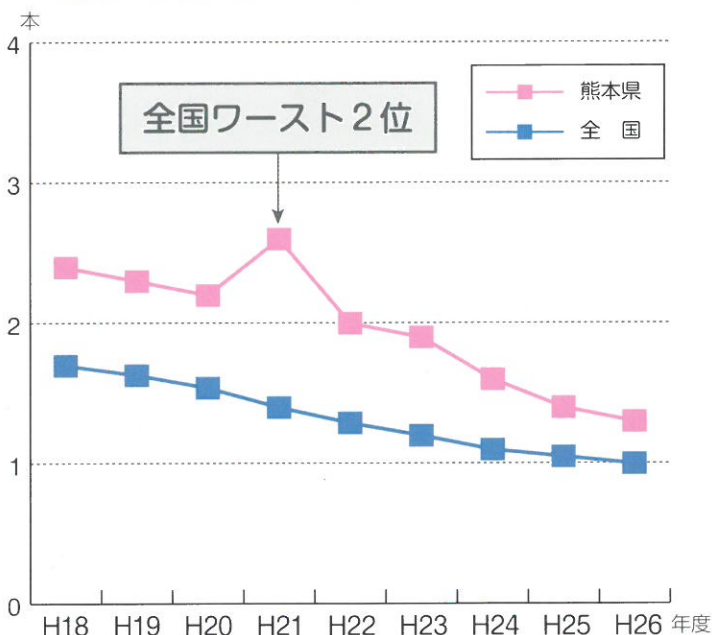


フッ化物洗口により、むし歯は減少しています！
この流れをさらに加速させましょう！

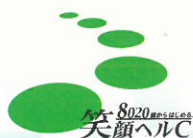
12歳児一人平均むし歯数

年度	熊本県	全国
H18	2.40	1.70
H19	2.30	1.63
H20	2.20	1.54
H21	2.60	1.40
H22	2.00	1.29
H23	1.90	1.20
H24	1.60	1.10
H25	1.40	1.05
H26	1.30	1.00

文部科学省学校
保健統計調査（抽出）



歯磨きと適切な食習慣と併せて、フッ化物洗口を継続することで
むし歯予防を強化し、子どもたちの健康づくりを応援しましょう！



お問い合わせ先

熊本県歯科医師会

〒860-0863

熊本市中央区坪井2丁目4番15号

TEL 096 343 8020 FAX 096 343 0623

（熊本県歯科医師会学校歯科委員会作成）